

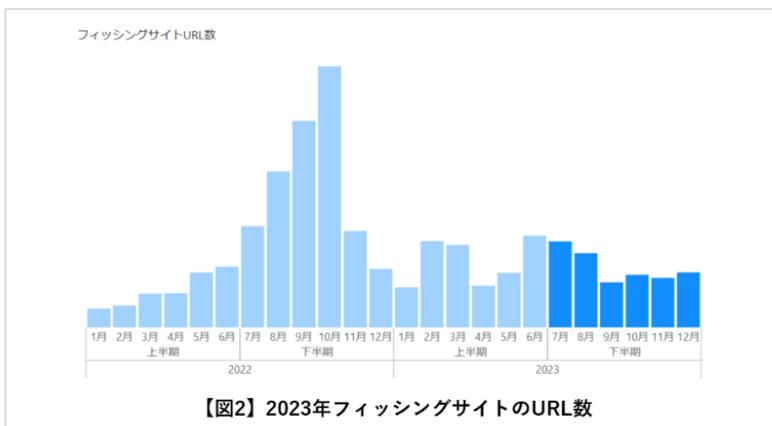
PRESS RELEASE

【セキュリティレポート】2023年下半期フィッシングサイトのドメインを独自に分析 ビジネスサポート・仮想通貨ウォレットの偽サイトで、サブドメイン文字列「meta」が悪用

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、2023年下半期に収集した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計したレポートを公開したことを発表します。

フィッシングサイト URL 総数は上半期とほぼ横ばい

デジタルアーツでは、日々様々な Web サイトについて調査・収集を行っています。今回、デジタルアーツは、2023年下半期(7~12月)に確認した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計しました(IP アドレス形式の URL は除く)。なお、本レポートで扱うドメインについては、【図 1】のように定義しています。2023年下半期のフィッシングサイト URL 総数は、上半期と比較するとほぼ横ばいであり、2022年下半期のフィッシングサイト URL 数と比較すると約 1/3 に減少しています。



TLID「id」は 16 位から 7 位に浮上 「.biz.id」「.my.id」の利用パターンを多く確認

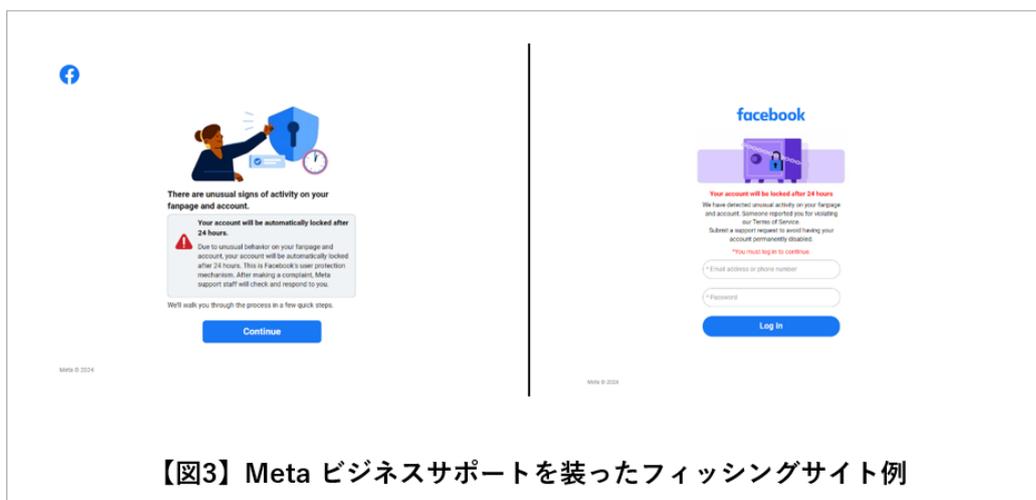
フィッシングサイトの TLD を集計した結果、「com」が 44.99%と下半期で最も多く、7・8 月で全体の約 1/4 を占めていました。ほかに上半期 0.95%であった「id」が、下半期では 2.90%を占め、増加していることが分かりました。

「id」は、インドネシアの国コードの TLD であり、特によく利用されていた企業向けドメイン「.biz.id」と個人向けドメイン「.my.id」は、フィッシングサイトの「id」ドメイン総数のうちの約 3/4 を占めています。「.my.id」は総数の半数以上での利用が確認され、インドネシアのコード決済サービス「DANA」やインスタントメッセージサービス「Telegram」を装ったフィッシングサイトで散見されました。このように、「.biz.id」「.my.id」がフィッシングサイトの TLD で多く利用された理由は、ドメイン名を制限なく登録できるためと推測できます。

サブドメイン文字列 2 位の「meta」 ビジネスサポートなどで悪用

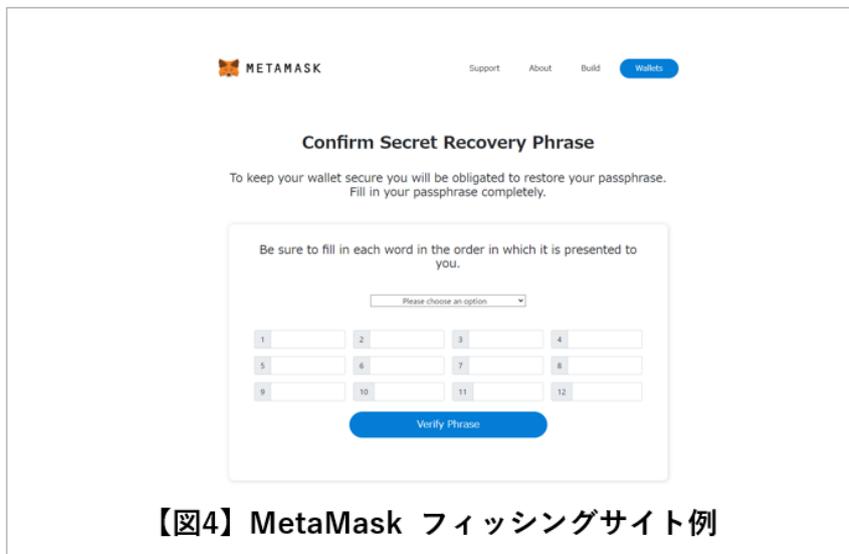
上半期 1.60%の「meta」は下半期では 1.85%のシェアを占め、サブドメイン文字列トップ 20 において 2 位となりました。「meta」は、メタ・プラットフォームズ (Meta Platforms, Inc.、旧称: Facebook, Inc.) のビジネスサポートや、ConsenSys が運営する仮想通貨ウォレット「MetaMask」を装った悪質なフィッシングサイトで散見されました。

Meta ビジネスサポートを装った表示は、Facebook のビジネスアカウントやコミュニティページの所有者に対して、「アカウントに問題があるため、ログインしないと 24 時間以内にアカウントロックされる」といったメッセージを表示し、メールアドレスやパスワードを入力させることで、ログイン情報やアカウント内の個人情報などを窃取します。



【図3】 Meta ビジネスサポートを装ったフィッシングサイト例

イーサリアム系ブロックチェーンの通貨や NFT を一括で保管・管理できる仮想通貨ウォレット「MetaMask」を装ったフィッシングサイトは、管理用の暗号データの入力を促すことで、ウォレットを乗っ取り、仮想通貨を盗みます。



TLD やドメイン、頻出する文字列に変化があるように、模倣されるブランドや攻撃手法も日々変化しており、仮想通貨(暗号資産)を狙ったものも確認されています。フィッシング攻撃は、引き続き組織や個人にとって深刻な脅威となつていきます。そのため、新たな攻撃手法を含めた情報収集とセキュリティ対策がより一層重要となります。

◆デジタルアーツでは

▶ [「i-FILTER」 Ver.10 ・ 「m-FILTER」 Ver.5 ・ セキュリティ対策の新定番 ホワイト運用 | デジタルアーツ株式会社 \(daj.jp\)](#)

受信したすべてのメールを開け、アクセスしたい Web をクリックできる。情報システム部門の運用負荷も削減できる。デジタルアーツの「ホワイト運用」がセキュアな世界を実現します。

「i-FILTER」

デジタルアーツでは日々様々な情報をもとにデータの収集を行っています。「i-FILTER」Ver.10 では、フィッシングサイト URL はフィルターデータベースへと迅速に配信され、[フィッシング詐欺]や[迷惑メールリンク]や[違法ソフト・反社会行為]カテゴリにてブロックが可能です。さらに、Web サービス制御機能においても、サービスごとの制御が可能です。

▶安全な Web セキュリティの新定番「ホワイト運用」とは

[Web セキュリティソフトは「i-FILTER」 Ver.10 URL フィルタリング ・ Web サービス制御 | デジタルアーツ株式会社 \(daj.jp\)](#)

またフィルターデータベースに反映されていない URL についても「ホワイト運用」を行うことで、デジタルアーツが安全を確認した URL にのみアクセスを許可し未知のフィッシングサイトや悪性 URL をブロックすることができます。

▶クレデンシャルプロテクション

[Web セキュリティソフトは「i-FILTER」 Ver.10 URL フィルタリング ・ Web サービス制御 | デジタルアーツ株式会社 \(daj.jp\)](#)

さらに「クレデンシャルプロテクション」機能では、正規のサイトと判別が困難な改ざんサイトに設置されたフィッシングサイトであっても、ユーザーが ID・パスワードを送信しようとした際にこれをブロックすることが可能です。

「m-FILTER」

「m-FILTER」は、送信元や添付ファイルの拡張子、メール本文中に含まれる URL の偽装判定などが行えるメールセキュリティ製品です。

▶「脅威 URL ブロック」オプション(※)

[メールセキュリティ対策は「m-FILTER \(エムフィルター\)」 Ver.5 | デジタルアーツ株式会社 \(daj.jp\)](#)

「i-FILTER」をお持ちでなくても「脅威 URL ブロック」オプションをご利用いただくことで、メールの本文と添付ファイル内の URL を、デジタルアーツが運用しているクラウド上のデータベースに問い合わせます。もしも危険な URL が記載されている場合は、メールをブロックします。

※2022 年 12 月 9 日より、本オプションの名称を「URL カテゴリ判定」から「脅威 URL ブロック」に変更しております。

※本オプションは「i-FILTER」をお持ちでないユーザー様に向けた機能となります。

※インターネット接続が必要となります。オフライン環境ではご利用いただけませんのでご注意ください。

2023 年下半期フィッシングサイト ドメイン集計のレポートはこちら

以下、弊社コーポレートサイト上にて公開しております。

https://www.daj.jp/security_reports/37/

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェスタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報課 関・宮内 TEL : 03-5220-1670/ E-mail : press@daj.co.jp

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、i-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、info board、Active Rating System、D-SPA、Anti-Virus & Sandbox for D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud D アラート発信レポートサービス、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk、Desk Event、StartIn、f-FILTER、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。